

平成30年度 福井県立金津高等学校 学校評価書

項目 〔校務分掌〕	具体的取組	成果と課題	改善策・向上策
1 学習指導・ 地域連携 (中高一貫 教育) 〔教務部〕 〔授業改善・ IPT企画室〕	①主体的・協働的な学 びを育む授業改善に 努める。	○教員は主体的・協働的な 学びを育む授業改善に積 極的に取り組んでいる。 ○生徒の授業の基礎的な内 容についての理解度は、 全学年で昨年より向上し ている。 △子どもの学習に対する保 護者の満足度は、昨年同 様1・2年生の満足度が 低い。	◇さらに授業改善に取り組むと 共に、大学入学共通テストに 対応した思考力問題の作成に 取り組む。 ◇全学年に手帳を導入し、1・ 2年生にはeポートフォリオ システムを併用して積極的に 活用することで、計画的な学 習への意識付けを行う。
	②地域との連携を密に し、特色ある教育活 動をとおして、中高 一貫教育の充実・発 展に努めるとともに 取組を積極的に広報 する。	△中高一貫中3生徒の授業 内容の理解度は高いが、 本校教員の取組と中3保 護者満足度は低下してい る。 ○連携中学校の関係教員の 評価は、昨年度に比べて 回復傾向にある。	◇HPなどを活用して、中高一 貫教育の取組内容を積極的に 広報していく。 ◇現在の状況を踏まえ、事業内 容について連携中学校との連 絡・調整を密に行い、中学か ら高校への接続について議論 を深める。
2 生徒指導 〔生徒指導部〕	①登校指導や頭髪服装 指導をとおして、挨拶 の励行・時間厳守・ 身だしなみなどの基 本的生活態度の育成 に努める。	○登校指導や生徒会活動な どをとおして、挨拶など の基本的な生活態度が身 についている生徒の割合 は高い。しかし、挨拶が 十分にできていない生徒 も一定数見られる。	◇全体やクラス単位の指導、個 人面談等、すべての機会をと おして、挨拶の意味や基本的 生活態度確立の重要性を啓発 する。また、継続して生徒会 とも協働し、生徒自身が挨拶 の意義を考える機会を増やし ていく。
	②学校行事やクラス活 動、部活動などに積 極的に取り組ませ生 徒の自主的・実践的 態度とリーダーの育 成に努める。	○多くの生徒が自主的・積 極的に諸行事に取り組ん でいる。あまり積極的で ない生徒の割合も減少し ているが、生徒の育成に さらに取り組む必要があ る。	◇生徒が学校行事や特別活動に おいて、達成感や充実感を味 わえるよう、個々の行事等の 内容を精査する。参加に積極 的でない生徒に対し、それぞ れに適した参加の場を与え、 支援に努める。
	③いじめの未然防止、早 期発見、早期解決に対 する教職員の意識の高 揚に努める。	△ほとんどの教職員がいじ め問題に対する認識を持 ち取り組んでいるが、さ らに積極的に取り組む必 要がある。	◇研修や会議等を利用して、い じめ問題に対する正しい理解 をさらに推進する。
3 進路指導 〔進路指導部〕	①進路指導計画を策定 し、模試の分析を有 効に活用することで 学力の向上を図り、 進路行事等をとおし て意識の高揚を図る。	○教職員・保護者・生徒の いずれも目標指数は上回 ったが、模試を活用した 進路指導は十分とはい えない。生徒自身の模試活 用意識は高まっている。 保護者の各種講座や補習 に対する満足度は昨年よ り下がっており、実施時 期や形態等についての検 討が必要である。	◇講座や補習については、生徒 の実状、要望等を考慮し、教 科会とも話し合いながら生徒 の目標に合った計画・実施に 努める。 ◇模試や各種学力診断テストを 有効に活用し、生徒の実態を 把握し、学習対策に結びつけ る。 ◇大学入試に向けた行事や取組 を充実させる。

	②学年通信や進路だよりの発行、研修会等をおして、生徒・保護者への適切な進路情報の提供に努める。	△進路情報の提供に関する取組、生徒の進路を考える成果については目標指数を上回った。しかし、1・2年生では進路についての話し合いが家庭で十分になされていない。	◇精選された、タイムリーな進路情報の提供に努める。 ◇学年通信や進路だよりを発行し、時期に応じた生徒に対するキャリア・進路指導の充実を図る。
4 保健管理 〔保健部〕	①家庭と連携し、心身の健康に関する知識を深め、自己の健康管理能力を育てる。	○教職員・保護者・生徒のいずれも昨年度指数を上回った。2年生のみ、目標指数をわずかに下回ったが、1年時よりは上昇しているため、引き続き向上を目指す。	◇掲示板や保健だより、個々の生徒への指導を通じて、健康管理の必要性を自覚させるように努める。
	②美化意識の向上と主体的な清掃活動の実践を目指す指導に努める。	△校内での教員および生徒の清掃に対する取組は目標指数を上回った。家庭での整理整頓に対する保護者の評価は目標指数をわずかに下回ったが、2年連続で上昇している。	◇教室・廊下の整理整頓や清掃週間の指導を通して美化意識を育てるとともに、整理整頓の重要性を認識させるように努め、家庭での状況向上につなげていく。
	③気がかりな生徒に対する理解と対応に努める。	○教職員は、気がかりな生徒に対する理解と対応に努力した。	◇引き続き、連携を取りながら一つ一つの事例を理解し、対応していく。
5 開かれた 学校づくり 〔図書渉外部〕	①ホームページやPTAだよりをおして本校教育の取組を積極的に広報するとともに、保護者や地域社会と連携した活動の充実を努める。	○教職員・保護者ともに目標指数を上回ったが、県のシステム変更により、ホームページによる広報がうまくできず、保護者による評価は昨年度より低下した。ホームページの充実が大きな課題である。	◇保護者に、引き続き学校の教育活動やPTA活動について理解してもらえるように、PTAだよりの発行などを行っていく。また、新ホームページへの移行を現在進めており、移行後はホームページを定期的に更新し、保護者・地域社会・中学生などへの広報活動の充実を図る。
6 図書指導 〔図書渉外部〕	①図書および資料の整備と充実を努める。	○教職員・生徒ともに目標指数を上回っている。	◇図書館の環境整備に努めるとともに、生徒への広報活動のさらなる充実を図る。
	②朝読書をはじめとした読書活動の充実および読書マナーの向上に努める。	○教職員・生徒・保護者のいずれも目標指数を上回った。しかし、学年が進むにつれて、生徒の朝読書への取組に対する評価が大きく低下していく傾向がある。	◇生徒に朝読書の意義を理解させるとともに、生徒の興味関心を引くような書籍の購入、学級文庫の設置に努める。

備考：「成果と課題」欄の「○」「△」は、アンケート集計結果に基づき、目標指数を達成した場合には「○」、達成しなかった場合には「△」で示している。